

1. 来年4月の県議選の区割りについて

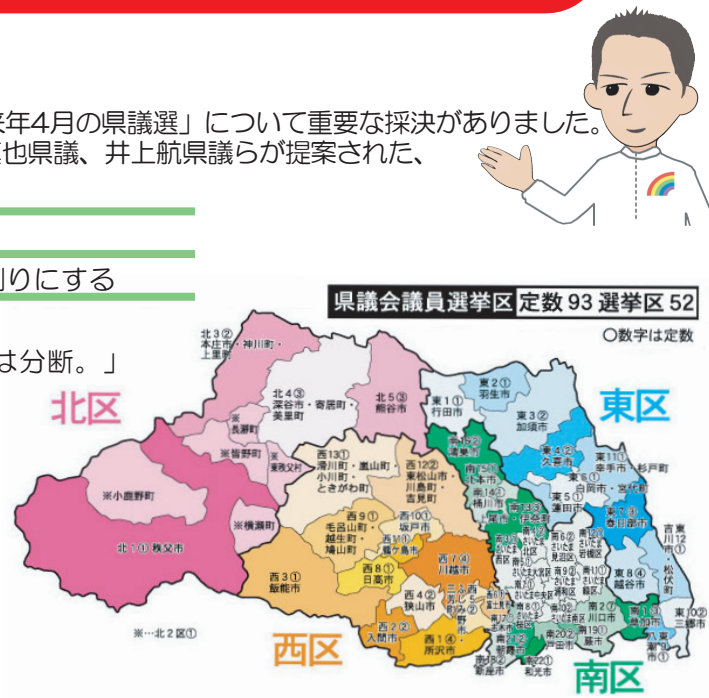
10月10日、埼玉県議会の「9月-10月定例会」が閉会。その中で、「来年4月の県議選」について重要な採決がありました。僕は鈴木正人県議、舟橋一浩県議、江野幸一県議、菅原文仁県議、藤澤慎也県議、井上航県議らが提案された、

- 1 議員定数を94から8削減し、86とする
- 2 一票の格差は2を超えないものとする
- 3 児玉郡4市町を分断しないような、生活圈・文化圏を守った区割りにする

という方針の案に賛成しました。しかし結果は、自民・公明案の「定数は93。北2区の経過措置により実際の格差は2.49。児玉郡は分断。」が、自民・公明県議の賛成多数により可決されてしまいました。

「議会自ら身を切る改革」
「投票価値の平等」
「地域のつながりを重視」
という案が通らなかったのは非常に残念です。

吉川においては、これまで「吉川市で定数1」でしたが、来年4月の県議選から「松伏町を合区し、吉川市・松伏町で定数1」と変更になります。



2. 河川・下水道の一体的整備

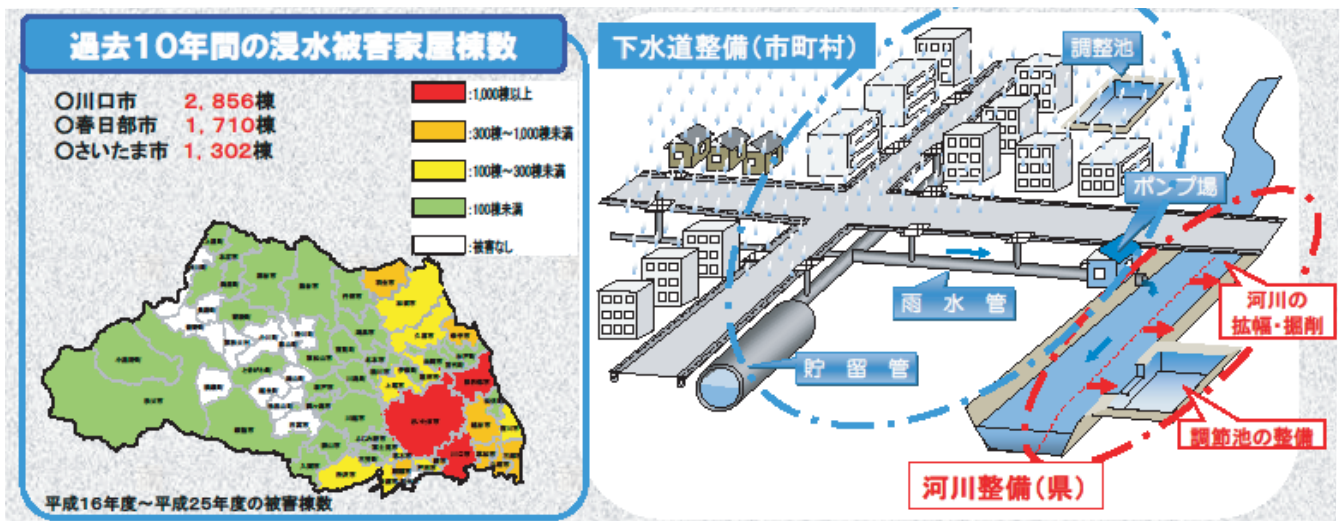
埼玉県では河川の拡幅や掘削などの整備を進めてきており、この30年で浸水家屋棟数は7分の1まで減少してきました。けれど、皆さんも感じているように、時間雨量50ミリを超えるような集中豪雨の発生回数が増加しており、埼玉県でもこの10年間で約1.6倍に。

川口市やさいたま市、春日部市をはじめ、埼玉県東部では依然として浸水被害が続いており、吉川でも昨年秋に駅前などで内水（街中に降った雨水等）による被害が大きかったのは記憶に新しい。

そんな中、埼玉県は河川・下水道の一体的整備に着手。吉川においては県の管轄である「大場川」や「第二大場川」への雨水排水の整備を中心に進められますが、掘ってコンクリートで固めるという整備ではないものを要望しています。

吉川の川や水路は「生活から隔離されている」と強く感じませんか？もっと水に親しめる設計で、子供達の実体験や市民のコミュニケーションの場となる、そんな川と水路のある街をつくりたいと考えています。

具体的な計画はこれからです。皆さんからのご意見も反映出来るよう進めてゆきたいと思っています。



中原 恵人プロフィール

- ・1970年5月22日生まれ/ふたご座/O型/吉川市在住/家族・妻、二男一女、デジー（犬）
- ・NPO法人『Future School *燦*』の理事長として、様々な問題を抱える子供や青少年への支援・教育に取り組み20年。そうした中で、「子供達の未来」には社会構造や価値観の変革が必要と感じ、2011年4月埼玉県議会議員選挙に立候補。
- ・組織もお金も知名度も無い中、1人でも多くの市民に気持ちを伝えようと自転車で行市内を走りまわり、多くの仲間、同志を得て当選。
- ・「小さな声にも耳を澄まし、次世代の為に価値ある未来を共に創ろう！」を合言葉に無所属市民派として日々奮闘中。

主な経歴
1989年 開成高校卒業 / 1998年 筑波大学第一学群社会学類政治学科卒業
2011年 東京福祉大学大学院臨床心理学専攻博士課程修了

趣味
スポーツ（野球・フットサル・ゴルフ・格闘技など） / 創作活動（音楽・絵画・文章）
旅（アジア放浪）バイク（天気の良い日にツーリング） / 仮面ライダー響鬼（大好き・笑）
著作：「これほどまでに不登校・ひきこもりを生み出す社会とは何なのか？」（北大路書房）



様々な形で情報発信しています！是非アクセスしてください



中原 恵人
公式ホームページ



中原 恵人
公式Facebook



Ameba
中原 恵人公式ブログ



中原 恵人
公式ツイッター